

事 務 連 絡
令和 6 年 10 月 3 日

近畿社会就労センター協議会
会 員 施 設 各 位

近畿社会就労センター協議会 事務局

(令和 6 年度) 第 42 回近畿社会就労センター総合研究大会(奈良大会)
の開催について

謹啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の「近畿社会就労センター総合研究大会」の開催をお知らせいたします。

今年は、「障害者福祉とソーシャルイノベーション」をテーマに別紙開催要綱の通りプログラムを予定しております。

皆様のご参加をお待ちしておりますので、ご多忙中かと存じますが、お取り計らいいただければ幸いです。

申込期日迫った中でののご案内となり大変恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

※近畿社会就労センター協議会は適格請求書発行事業者として登録していないため、本大会参加費等にかかる適格請求書の発行はございません。
また、領収書につきましても、お振込みの明細をもって代えさせていただきますので発行はございません。あらかじめご了承くださいませ。

[連絡先:近畿社会就労センター協議会 事務局]
大阪府社会福祉協議会 施設福祉部(担当:渡邊)
Tel : 06-6762-9001 / Fax : 06-6768-2426
Mail: selp@osakafusyakyo.or.jp

令和6年度 第42回 近畿社会就労センター総合研究大会(奈良大会)

～障害者福祉とソーシャルイノベーション～

開催要綱



■開催趣旨

障害のある人たちの暮らしが豊かになるには、地域の人たちとともに、よりよい人生を送ることが必要です。少子高齢化社会を迎えた現在、こうした地域を実現するには、多様性を豊かさとして発想していくことです。障害者福祉においても、分野を超えた連携で社会課題を解決するソーシャルイノベーションをめざすような取り組み、アイデアが求められている時代です。

そこで、「ノウフク・アワード 2023 グランプリ」を受賞した社会福祉法人青葉仁会の榊原理事長を招いて、高齢過疎化する地域で多角的に事業を進めている取り組みから学びたいと思います。また、SDGsを意識して持続可能な視点を持ち、奈良ではじまっている新しい取り組みを紹介します。

みなさんのご参加を、心からお待ちしています。

■開催概要

□主 催 近畿社会就労センター協議会・奈良県社会就労センター協議会

□後 援 奈良県・奈良市(予定)

□開催日時 令和6年11月28日(木)10:00～16:00(9:30開場)

□場 所 奈良県コンベンションセンター 2階(会議室 203・204号室)
奈良市三条大路1丁目691-1 TEL.0742-32-2290

□参加定員 150名 先着順

□参加対象 社会就労センターに勤務する職員

□参加費 **近畿セルフ会員 3,000円(1人あたり)・非会員 5,000円**
地域活動支援センター 2,000円(会員・非会員問わず)

**※お弁当のご用意がございます。ご希望される方は下記申込みフォームからお知らせください。
お弁当代、1食1,200円(お茶付き)。**

■参加手順

- ① WEB 申込フォームから必要事項を記入してお申し込みください
- ② ご登録いただいたメールアドレスに招待状が自動返信されます
- ③ 期日までに参加費をお振り込みください(※振込がない場合、当日、強制退出となる場合がございます)

申込フォーム：

<https://aff60c26.form.kintoneapp.com/public/66cd53adf3c0f2e89e5be003b709e6f3c0edf62775eaa595f64c09802ac6b1b9>

申込期日・参加費振込期日：10月31日(木)



〔参加費 振込先〕

銀 行：りそな銀行 大手支店

□ 座：普通預金 5428107

名 義：社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
セルフ部会 大下 芳典

〔連絡先/近畿セルフ協 事務局(担当:渡邊)〕

大阪府社会福祉協議会 施設福祉部内

Tel:06-6762-9001/Fax:06-6768-2426

Mail: selp@osakafusyakyu.or.jp

※当日の欠席のご連絡は06-6762-9001
におかけください。

■プログラム

時間	内容
9:30	開場
10:00	開会式 / 主催者あいさつ
10:15	<p>〔基調講演〕 新たな共生型循環経済の構築を目指して - 就労支援による自然や人との関わりを通じた取り組み - 社会福祉法人青葉仁会 理事長 一般社団法人日本農福連携協会 代表理事 榊原典俊氏</p> <p>農業のほか、加工業、販売業などさまざまな業種の作業をとおして、障害のある人たちの成長、経済的自立を支援し、これまでに40名以上が一般就労に移行しています。過疎化がすすむ地域においてカフェ、レストラン、観光農園の運営、廃校になった学校の活用など、多角的に事業を展開しています。「ノウフク・アワード2023 グランプリ」を受賞した地域とともにある取り組みから学びます。</p>
11:45	休憩
12:45	<p>〔リレートーク〕 奈良県内において、障害福祉の分野を超えた連携で社会課題を解決しようとするような取り組みを紹介します。</p> <p>〔リレートーク〕Ⅰ 12:50～13:40 今井文庫のコンセプトは「急がないこと」 一般社団法人サードプレイス今井 代表理事 上田琢也氏 今井町の伝統的な町家で「コミュニティカフェ（ブックカフェ）」を運営し、雑貨やお土産品の製作や販売を行なっています。障害のある人たちが働く場でもあり、地域の子どもたちからお年寄り、移住してきた人や観光で訪れた方々など、多くの人たちが集い、交流する地域にひらかれた場所です。</p> <p>〔リレートーク〕Ⅱ 13:45～14:35 ユニバーサル農園奮闘記 - 農福連携は1日にしてならず - NPO 法人エムワイピー農場 理事長 増井義久氏 ユニバーサル農園とは、身近で農業に参画できる市民農園（農業体験農園）の活用を通じて、多世代・多属性の交流・参加の場を農業をとおして生み出しています。また、障害のある人たちによる農業分野での就労意欲の向上、農福連携に取り組む層の拡大（裾野の拡大）をめざしています。</p> <p>〔リレートーク〕Ⅲ 14:40～15:30 地域とともに歩む開かれた施設をめざして 社会福祉法人こぶしの会 コミュニティワークコッから 施設長 梅田玲輔氏 地域とのつながりを大切に、湯種食パンや国産大豆を使った豆腐の製造販売、リサイクル活動などを行なっています。また、地域の学校、企業、NPO 団体などと協働して、福祉×環境、福祉×教育、福祉×地域などをテーマにした事業に取り組んでいます。</p>
15:45	閉会（次期開催県 あいさつ）

■注意事項

- 申込は先着順となります（定員超過でお受けできない場合はご連絡いたします）
- お支払いの領収書は、お振込時の控えを以て代えさせていただきますことをご了承ください
- 申込期日以降のキャンセルについては参加費の返金は致しません
- キャンセルによる返金にかかる振込手数料はご負担ください